

## 離島に思いを馳せて

長崎県立諫早高等学校附属中学校3年 中島 夕佳

「体感、長崎の島。」

これは、ある長崎県の離島PR動画のタイトルです。長崎県出身の歌手、福山雅治さんが、CGで長崎の島々に「なり」島を体感する、というユニークなものでした。

私は昔、壱岐に住んでいました。壱岐は、長崎県の北西にある人口二万六千人程の小さな島です。とても自然が豊かな所で、私の小さい頃の思い出が沢山つまっています。また、島の方々はとても温かく、幼い私にとってもよくして下さいました。そんな壱岐が、福山さんとコラボできるとは思ってもおらず、授業でその動画を見たときはすごく驚きました。

嬉しいことに、これだけでなく、最近をよく壱岐などの離島の話題を耳にします。

調べてみると、離島を活性化させる取り組みには、国や県からの支援が受けられるそうです。特に壱岐などは、「特定有人国境離島地域」にあたるので、多くの補助が受けられます。またこの補助は、島内の農林水産業の活発化や、島民の生活環境改善にも使われているそうです。

私達が納めている税金は、日本にとって重要な役割を果たす離島の、活性化にも役立っているのです。

ところで税金には、公的サービスの「財源調達」、支払い能力に合わせて公平に税金を負担する「所得再分割」、税率を変えることによる「経済安定化」などの役割があるといえます。

私は、税金には「投資」のような性格もあると思います。

私がアイスを買うとき払った十円は、もしかしたら、壱岐の若者が起業する資金になっているのかもしれない。五島の農家さんの笑顔に、貢献しているのかもしれない。

はたまた、誰かがアイスを買うとき払った十円のおかげで、今、私が勉強できているのかもしれない。私の町がきれいに保たれているのかもしれない。

そう考えると、私達は「投資」する側でもあり、される側でもあるのですから、納税とは「恩返し」と言うこともできるのではないのでしょうか。

昨年消費税が10%に引きあげられたときは、正直、「嫌だなあ」と思いました。でも、税の勉強をした今は違います。

これからは、思い出の地壱岐に思いを馳せ更なる発展を願いつつ、今まで私を支えてくれていた、会ったことがない人々にも恩返しする気持ちで、誇りを持って納税していきたいと思います。